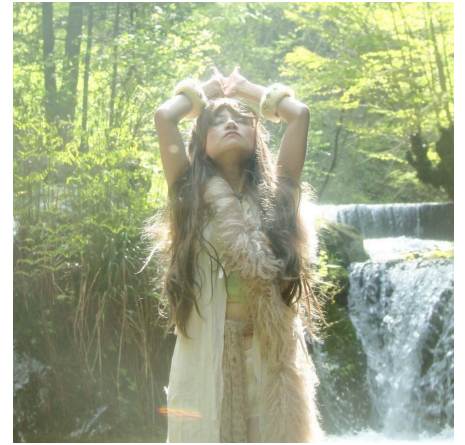


柚楽弥衣プロフィール



概要：

- ・東京出身、在住の詩人・音楽家。
- ・作詞、作曲、編曲、ヴォーカル、コーラスアレンジメント、ナレーション、音源制作の他、ヴォイストレーナーとしても活動中。

経歴：

- ・物心がついたころから、いろいろな「ものづくり」に夢中になって幼少期を過ごす。
- ・10代後半で、ヨーロッパで伝説となった先鋭的なインディーズ・バンドに参加、多くのミュージシャン、プロデューサーから才能を認められ、プロフェッショナルな歌手として活動を始める。
- ・1996年の新居昭乃とのデュオ・ユニット「Goddess in the Morning」では自作曲も提供し、その存在が広く知られるようになる。
- ・以降、CM、ゲーム音楽といった商業音楽で活躍する一方で、アーティストとしてのオリジナル作品を制作・発表し始める。
- ・そのほか、様々なジャンルのアーティストとのコラボレーション、様々な場所での即興歌唱など、インスピレーションに満ちた自由な活動を続けている。

主な作品：

- ・ゆらふ（2004年9月）
- ・神殿の角（2009年8月）
- ・惑星JUWEL Beyond the Galaxy（2015年7月）

特技、趣味：

- ・茶道 ほら貝 旅行 映画鑑賞

LIKES：

- ・好きな映画：フィッツカラルド
- ・好きな動物：ねこ
- ・好きな色：ゴールド ホログラム オパール
- ・好きな場所：北極圏
- ・好きなこと：歌うこと 踊ること 音楽を創ること
- ・好きな食べ物：生野菜（白菜、マッシュルーム、ヤングコーンなど） 生ナッツ（クルミ、アーモンド、カシューナッツ、ピスタチオなど） チーズ（ブルー、ペコリーノ、コンテなど） 豆腐 アボカド 白身魚のお刺身 クリーミーで淡い甘さのデザート、フルーツなど

柚楽弥衣オフィシャルウェブサイト：

<http://yulayayoi.com>

柚楽弥衣ってどんな人？

「天才ヴォーカリスト」

柚楽弥衣は、音楽の専門家の間でも滅多には達成することの出来ない最高の技術とされる「完全な倍音系列」を持ち、それを自在にコントロールすることのできる稀有な才能を持ったヴォーカリストとして、英国人プロデューサーのニック・ウッドを始めとする多くのトップ・プロフェッショナルから高く評価されてきました。

天にも届く透明な高音から地を轟かせる力強い低音までの幅広い声域を持ち、時にはガラスのように冷たく輝き、あるいは春風のように暖かく柔らかく耳をそよぐ、同一人物の声とは信じられないほど融通無碍に表情を変化させることができます。ヴォーカリストの技術で最も難しい「ピアノリズムで声を遠くまで響かすこと」が可能なその歌声は、様々なCMにも起用され、多くの人たちがその魅力を耳にしているはずです。

「CM・ゲーム音楽」

柚楽弥衣がこれまでに歌唱を提供してきたCMは、以下のようなものです：ホンダ、キューピーマヨネーズ、トヨタ、資生堂、JT、メンソレータム、TOTO、東芝、ユニチャーム、ハーゲンダッツ、日立、アウディ、カネボウ、ワコール、オペル、サントリー、リクルート、NTT、日産、コカコーラ、森永乳業、ロッテ、など。

CMサンプル：トヨタLEXUS GS TV CM：

<http://bit.ly/2nupar5>

柚楽弥衣の歌声は、ゲーム音楽の世界でも広く知られています。特に有名なのがPSゲーム「SIREN」に使われた「奉神御詠歌」で、この歌唱はいまや世界中で伝説となっています。

<http://bit.ly/2mZ3tTJ>

「コンプリート・ミュージシャンとしてのアルバム作品」

柚楽弥衣は次第に商業音楽の世界からは距離を置き、ヴォーカルだけではなく、作詞・作曲・編曲・打ち込み・ミキシングまでを、ほとんど全て自分ひとりで担当し、「ヴォーカリスト」ではなく「コンプリート・ミュージシャン」として制作したアルバム作品を発表し、「その価値を理解する」ミュージック・ラヴァーの間で熱狂的な評価を受けてきました。

「ゆらふ」2004年

<http://amzn.to/2nua4SF>

「神殿の角」

<http://amzn.to/2nrj6yX>

「惑星JUWEL Beyond the Galaxy」

<http://amzn.to/2nreUz3>

こうした自作作品の制作は柚楽弥衣の活動のベースであり、現在も、その音楽性に共感するトップ・レベルのアーティストたちとの共同作業を含めた制作活動が進行中です。

「奉納歌唱・自然とのエネルギー交換」

また、柚楽弥衣は自然の持つ波動に敏感に呼応する感覚を持ち、全国各地の「パワースポット」で、そのエネルギーを取り込んだような歌唱を行ってきました。「自分の中にあるものを表現する」だけではなく、「その時その場のエネルギーを音にする」ことが柚楽弥衣ならではのアートであり、その成果の充実度の高さは他ではなかなか求められない魅力だと言われています。ここでご紹介する動画のような簡易的な録音でさえ、その声の異次元の響きは明確に伝わりますが、やはり「生の歌声を聴くと本当に圧倒される」と言う方が多いのはもちろんです。

宮古島での屋外の歌唱：

<http://bit.ly/2ctzEGf>

秩父今宮神社龍神祭での奉納歌唱：

<http://bit.ly/28ZyUG6>

青森、岩木山神社歌唱奉納（録音時の機材操作ノイズが入っています）：

<http://bit.ly/2nrhK7n>

「千日の歌」

現在、柚楽弥衣が「自分の使命」として注力する「千日の歌」プロジェクトが進行中です。これは、即興歌唱から作った歌を毎日一曲、（多重録音の場合はミックスダウンまで含めて）一時間以内に仕上げインターネット上で公開する「歌の千日回峰行」ともいべきもので、2015年末に開始されました。その多彩な音楽性と高い志は、静かに、しかし深く、理解者の輪を広げています。

今日、その芸術性の高さが広く認められている偉大な作品たち、例えばJ.S.バッハの「フーガの技法」、あるいはモーツァルトの「ハイドン・セット四重奏曲集」などは、当時としては例外的に発表するあてもなく「自らの研鑽のために」あるいは「神に捧げるために」書かれた作品でした。真に創造的なアーティストがこうした純粋な創作衝動に基づく先鋭的な活動を継続的に行うことの意味は、同時代者にはエソテリックなもの映るでしょうけれど、後世の人間によって正当な評価を受けるのかもしれない。

千日の歌はサウンドクラウドで公開されています：

<https://soundcloud.com/yulayayoi>

「サウンド・オブ・カールヴァーン」

さらに2016年から、柚楽弥衣は「参加型ライブイベント：サウンド・オブ・カールヴァーン」を主宰し始めました。自ら制作した未発売のゲームのためのサウンドトラックを元に、その世界観を借りた「音楽旅絵巻」は、柚楽弥衣の強力なヴォーカルにリードされ、サウンドトラック、バンド演奏、ダンス・パフォーマンスに加えて、観客が持ち込んだ楽器を自由に演奏し、オープン・マイクで歌い、思い思いのレンタル衣装に身を包んで踊り、それらが渾然一体となった会場は次第に花が咲くような笑顔がいっぱいに溢れます。このプロジェクトは、今後の柚楽弥衣の活動の大きな柱として、ヴィジュアル、照明といった多角的な要素を加えて展開される予定です。

Facebookイベント・ページ：

<http://bit.ly/2nIYZhn>